

産業建設委員会



産業建設委員会では、本年度の所管事務調査事項として、「観光産業発展への課題研究について」、「道路維持管理における速やかな情報収集と対応について」、「公園の利活用の促進と地域の活性化について」、「市営住宅の入居について」の4項目を選定し、調査研究を行いました。その中から、「公園の利活用の促進と地域の活性化」について調査過程を詳しくお伝えします。

公園の利活用の促進と地域の活性化について

【選定した理由】

本市には、2つの総合公園をはじめ多くの公園があり、市民の憩いの場となっています。しかし、中には利用率が低い施設があるなど、維持費がかさむことが懸念されています。このため、公園の利活用の幅を広げ、集客の材料に変えていけるかなどを探るため、調査研究を行いました。

【本市の現状】

本市が管理する都市公園は、令和2年3月時点で367カ所あり、種類は右図のとおりです。

公園内のテニスコートや多目的グラウンドなどの利用率は、

平成29年度・・・67.3 パーセント

平成30年度・・・65.5 パーセント

令和元年度・・・63.5 パーセント

ですが、利用率が20パーセント台のものから、100パーセントに近いものもあります。

全ての公園の維持費用の合計金額は、

平成29年度・・・2億4,652万円

平成30年度・・・2億6,520万円

令和元年度・・・2億6,471万円

と高額なため、今後は、パークPFI(※)など、新たな手法の活用も検討していく考えです。

【視察の実施】

松阪市総合運動公園、鼓ヶ浦サン・スポーツランド、深谷公園の3カ所を視察しました。

このうち松阪市総合運動公園は、県内の公共施設としては初めて、スケートパークが設置されたことで注目を浴びました。松阪市によれば、平成16年に愛好家が、スケートパークの建設を求める請願書を市議会に

図：市内の都市公園等の種類

種類	種別	個所数	公園名など
住区基幹公園	街区公園	348	代表的な公園名 矢田部公園 新生公園 矢橋公園
	近隣公園	8	平田池公園 弁天山公園 江島公園 高岡山中央公園 桜島公園 玉垣中央公園 神戸公園 自由ヶ丘公園
	地区公園	5	江島総合スポーツ公園 箕田公園 鼓ヶ浦サン・スポーツランド 御座池公園 桜の森公園
都市基幹公園	総合公園	2	鈴鹿フラワーパーク 深谷公園
	運動公園	1	石垣池公園
緩衝緑地等	都市緑地	3	鈴鹿川河川緑地 海のみえる岸岡山緑地 鈴鹿中央線緑地

※パークPFI・・・

公園の整備に民間の資金やノウハウを活用する
公募設置管理制度